

令和2年度 一般社団法人横浜市都筑区医師会 事業結果

基本方針

横浜市都筑区医師会は、都筑区を中心とする地域住民の医療・保健・福祉の向上に関する事業を行う。さらに震災等災害発生時には行政と協力し救護活動を行う。また医師相互の協調と連携を深め、日々進歩する医療・医学の専門家集団として使命を果たすべく誠心誠意努力する。

事業費

公1 地域医療及び地域保健事業

地域医療・地域保健の向上を目的として、あらゆる分野で市民と直接対話し、情報提供を行うことで、疾病の早期発見・予防に繋げ、市民が安心して日常生活を送れるよう健康管理を行っている。

感染症の定点観測に積極的に協力することで、いち早く感染症の実態を把握し、正しい情報を市民に提供し、感染症予防・拡大防止を図る。

健診により市民の健康管理の意識を高めると共に、心電図判定、二次読影による専門家の関与で重症化を防ぐ。

赤ちゃん会・養育ネットワーク・保育園医・学校医・産業医活動を通じて、直接市民の相談に応じ、不安の解消に務めるとともに、講演会・勉強会により市民に健康に関する知識の普及を図る。

補 感染症サーベイランス

感染症の発生拡大を防ぐため早期に市民に対して情報提供を目的として、横浜市衛生研究所に協力して、区内の登録医療機関において感染症発生情報を収集し

報告を行う

まとめられた情報は、当会ホームページにおいて情報提供するとともに各医療機関においては患者に注意喚起を促し、あわせて予防に関する知識の提供を行う（敬称略）

小 水野恭一、 大山 学、 山下恒久、 齊藤正峰、 栗屋敬之、 豊田彰史、

内 斉木和夫、 長田展明、 小林雅子

眼 立原 蘭 → 上川床総一郎

S T D 村越康紀 → 長井快舟、 林 康子

補 乳幼児健診・予防接種

赤ちゃん会への医師派遣協力

乳幼児の病気の予防と早期発見及び健康の保持・健康の増進を目的として、4カ月健診、1歳半健診、3歳健診をそれぞれ毎月1、2回医師の派遣協力の実施

幼児虐待の早期発見や体調の変化が激しい乳幼児等の情報提供を行う

(中止日には、取消線)

	4か月児健診 (火) 13:15~ 14:45	2020/4/7, 21	2020/5/12-26	6月9日	7月2日	7月7日	7月8日	7月21日	7月28日	8月4日	8月18日	9月8日	9月29日
		2020/10/1, 13	2020/10/20, 27	11月10日	2020/11/24, 26	12月8日	12月22日	1月12日	1月26日	2020/2/4, 9	2月16日	2021/3/2, 9	2021/3/23, 30
	1歳6か月児健診 (木) 13:15~ 14:45	2020/4/9-23	5月21日	6月18日	7月16日	7月21日	8月6日	9月3日	9月10日				
		2020/10/8, 22	10月29日	2020/11/5, 12	11月19日	2020/12/3, 17	12月24日	2021/1/7, 14	2021/1/21, 28	2月4日	2月16日	3月4日	3月25日
	3歳児健診 (木) 13:15~ 14:45	4月2日	4月16日	4月30日	5月14日	5月28日	6月11日	6月25日	7月9日	7月30日	2020/8/6, 18, 20	9月3日	2020/9/10, 17
		2020/10/1, 8	2020/10/15, 29	2020/11/5, 12	11月26日	2020/12/3, 10	12月24日	2021/1/7, 14	1月28日	2月18日	2021/3/4, 11	2021/3/16, 18	3月25日

補 学校心臓検診心電図判定

都筑区内の公立小学校1年生、中学1年生の全児童及び1年生児検診で要経過観察とされた児童の心電図の判定を行う

心疾患をもつ児童の学校活動での運動強度の管理指導を行う

先天性心疾患の早期発見、致死性不整脈の早期発見によって、児童の突然死を予防することを目的としている

30校 4,079人を判定した。

区責任者：百々秀心 市検討委員兼判定委員：大山 学

判定委員：小林賢司、 斉木和夫、 佐々木治、 百々秀心、 山下恒久、 曾我恭司

補 肺がん検診二次読影会

横浜市が実施している肺がん検診のX-Pのチェックを月3回行っている
 専門医によるX-P読影により、肺がん検診の精度を上げることで肺がんの見落とし防止・早期発見に繋がり地域住民の健康維持に寄与している

令和2年度	4月			5月		6月			7月			8月			9月			小計 (4月~9月)
実施日	4月2日	4月14日	4月28日	5月12日	5月26日	6月4日	6月9日	6月23日	7月2日	7月14日	7月28日	8月6日	8月11日	8月25日	9月3日	9月8日	9月15日	—
二次読影医出席人数	2	4	4	2	4	2	4	4	2	4	4	2	4	4	2	4	4	56
提出医療機関数	15	20	16	3	11	9	13	19	16	21	21	16	18	19	13	20	21	—
読影件数(人数) デジタル	118	142	48	4	65	44	32	149	105	139	182	121	83	123	106	83	136	1,680
読影件数(人数) フィルム	0	3	1	0	1	0	0	2	0	5	6	0	2	5	0	5	2	32
読影件数合計	118	145	49	4	66	44	32	151	105	144	188	121	85	128	106	88	138	1,712
フィルム枚数	0	6	2	0	3	0	0	4	0	10	12	0	4	10	0	10	4	65
開始時間(24時間表記)	18:20	19:25	19:30	19:28	19:30	18:24	19:30	19:30	18:20	19:33	19:30	18:17	19:26	19:20	18:20	19:30	19:30	—
終了時間(24時間表記)	19:15	20:00	19:50	19:33	19:45	18:45	19:43	20:00	18:55	20:02	20:05	19:02	19:46	19:50	19:15	19:55	19:58	—
読影実施時間	0:55	0:35	0:20	0:05	0:15	0:21	0:13	0:30	0:35	0:29	0:35	0:45	0:20	0:30	0:55	0:25	0:28	—

令和2年度	10月			11月			12月			1月			2月		3月			小計 (10月~3月)	H30年度合計	
実施日	10月1日	10月13日	10月27日	11月5日	11月10日	11月24日	12月3日	12月8日	12月22日	1月7日	1月12日	1月26日	2月4日	2月9日	2月16日	3月4日	3月9日	3月23日	—	—
二次読影医出席人数	2	4	4	2	4	4	2	4	3	4	4	4	2	4	4	2	4	4	61	117
提出医療機関数	21	24	24	16	18	24	18	17	17	14	20	21	14	14	22	17	19	23	—	—
読影件数(人数) デジタル	199	351	351	196	136	292	169	90	149	162	123	149	104	63	109	180	109	247	3,179	4,859
読影件数(人数) フィルム	0	22	16	0	13	15	0	10	7	0	6	1	0	4	2	0	4	8	108	140
読影件数合計	199	373	367	196	149	307	169	100	156	162	129	150	104	67	111	180	113	255	3,287	4,999
フィルム枚数	0	44	32	0	26	32	0	20	15	0	12	2	0	8	4	0	8	16	219	284
開始時間(24時間表記)	18:23	19:30	19:30	18:20	19:30	19:30	18:20	19:30	19:30	18:20	19:25	19:30	18:20	19:16	19:27	18:20	19:30	19:25	—	—
終了時間(24時間表記)	19:40	20:35	20:35	19:23	20:05	20:25	19:15	19:50	20:30	18:53	19:55	19:57	18:57	19:38	19:55	19:34	20:02	20:10	—	※均読影時間
読影実施時間	1:17	1:05	1:05	1:03	0:35	0:55	0:55	0:20	1:00	0:33	0:30	0:27	0:37	0:22	0:28	1:14	0:32	0:45	—	0:37

赤ちゃん会

0歳児を持つ保護者、特に初めて出産した母親を対象として行政が実施する赤ちゃん会のうち、年10数回については医師会館で行われている
 赤ちゃんとの手遊びや育児の情報交換、仲間づくりなどを目的に実施されるが、本会からも医師が出勤し健康相談に応じるなど、保護者の不安を解消し、
 よりよい育児が行えるようサポートしている ※中止日に取消線
 4月9日(木) 5月14日(木) 6月11日(木) 7月9日(木) 9月10日(木) 10月8日(木) 11月12日(木) 12月10日(木) 2月18日(木) 3月11日(木)

養育ネットワーク

福祉保健センターからの要請により、小児科標榜医が中心となってテーマに沿った内容で講話を行う
 赤ちゃん会への医師派遣協力 (敬称略)
 今年度、開催無し

補 保育園医

主に区内の横浜国立保育園や私立保育園において園医として園児の健診等を実施し、健康管理、情報提供を行っている
 園長及びスタッフが日常業務での不明点や注意点などを医師に相談したり、勉強会や講演会、ミニレクチャーなどを実施することで、保護者に対する
 情報提供及び乳幼児の健康維持に役立っている。

	<p>園長と園医との意見交換会及び講演会の実施（敬称略）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 都筑区保育園医部会 園長意見交換会 今年度は開催せず ・ 保育園医部会 意見交換会 今年度は開催せず
補	<p>学校医</p> <p>区内の横浜市立小・中学校において学校医を推薦・派遣し、児童・生徒の健康管理を行っている</p> <p>研修会、教員及び養護教諭との連絡会が開催され、児童・生徒の健康維持を促進するためにどうすべきか情報交換を行っている</p> <p>学校保健会の研修会等の開催に協力し、毎年2回講師を派遣しPTA向けの講演会を通して児童・生徒の健康管理について学び、また保護者自身の健康管理にも寄与している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 【中止】学校保健会都筑支部「総会」7月 ・ 【中止】学校保健会都筑支部「大会」1月
補	<p>産業医</p> <p>産業医は従業員50人以上の企業に対して義務付けられている為、区内企業からの要望により日本医師会認定産業医の資格のある会員を推薦、派遣を行う</p> <p>横浜北地域産業保健センターで行われる産業医を雇えない中小企業向けの無料の健康相談事業に協力し、多くの労働者の健康維持に役立っている（敬称略）</p> <p>令和2年春 産業医推薦 みどり保育園 茅ヶ崎保育園</p> <p>令和3年春 産業医推薦 亀屋万年堂</p>
継1	<p>市民向け情報提供事業</p> <p>市民に有益な情報を発信することにより、ひとりひとりの健康管理・健康維持の意識向上の手助けをする。</p> <p>正しい情報・知識を与えることで、過大な不安を解消することで、真に医療及び介護を必要としている人の受診及び利用機会をつくる。</p>
補	<p>都筑区民まつり</p> <p>横浜市営地下鉄「センター南駅」までの広範囲にわたって行われる都筑区民まつりにおいて、「健康相談コーナー」のブースを設け、区民の健康に対する不安を解消し、健康管理・健康維持の意識向上のために健康相談を行う（全市一斉健康相談の実施）</p> <p>地域住民の健康増進、福祉の向上、地域振興等をはかる</p> <p>今年度は開催せず</p>
	<p>広報誌こんにちは</p> <p>機関紙として、ご利用者・ご家族や関連機関の方々に、当事業所をご理解頂き、親しみを持って頂くために毎月発行している。</p> <p>内容は、事業所内部の行事や勉強会開催について、職員について、介護等の豆知識、又は、制度等の変更についてのお知らせなど多岐に渡る。</p> <p>利用者への配布と共に不特定かつ多数の人々も閲覧することができるように本会のホームページにも掲載する</p> <p>月1回更新（計12回更新）</p>
補	<p>在宅事業部門事例発表会</p> <p>本会が主催となり区内全介護保険事業所に参加を呼びかけ、事例発表及び在宅療養関連の講演会を開催する（介護保険利用者を含め毎年70～80名の参加）（敬称略）</p> <p>今年度は開催せず</p>
	<p>予防接種及び検診等の実施医療機関のお知らせ</p> <p>高齢者インフルエンザ…夏に取りまとめを行い、市医に提出。結果は下記URLにて公表される。</p> <p>https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/yobosesshu/yobosesshu/koureiinflu.html</p> <p>成人用肺炎球菌ワクチン…夏に取りまとめを行い、市医に提出。結果は下記URLにて公表される。</p> <p>https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/yobosesshu/yobosesshu/seijinhaikyuu.files/0466_20210401.pdf</p>

	<p>麻疹・風しん混合ワクチン及び風しん抗体検査…発生についての案内を会員に周知。協力医療機関は下記URLにて公表されている。 https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/yobosesshu/yobosesshu/rubellavaccine.files/0575_20210401.pdf</p> <p>子供の予防接種（ヒブ、小児用肺炎球菌、B型肝炎、BCG、四種（二種）混合、水痘、日本脳炎、子宮頸がん） …申請様式の希望があれば配布して市医に提出。協力医療機関は下記URLにて公表されている。 https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/yobosesshu/yobosesshu/child.files/0590_20210415.pdf</p> <p>各種健診・検診（横浜市健康診査、肝炎検査、前立腺がん、胃がん、子宮がん、乳がん、大腸がん、肺がん）…年度末に実施希望を確認。実施医療機関には逐次検診用紙を準備する。 https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/kenshin-kensa/kakushu/top.files/0723_20210507.pdf</p>														
補	<p>市民医学講演会</p> <p>地域医療連携推進の一環として、行政の共催を受け、一般市民を対象にした講演会を年1回開催 今年度は開催せず</p>														
補	<p>救命講習会</p> <p>対市民向け心肺蘇生救命講習会を実施（今年度は開催なし）</p>														
<p>繰2 災害対策事業</p> <p>大規模災害発生時に想定される傷病者の救命・救護のため、地域救護拠点の体制を整え、合わせて地域住民に対して非常時にも冷静に対処できるよう実施訓練を通して初期医療の重要性を認識させことに努める。</p>															
<p>防災訓練実施協力</p> <p>地域防災拠点へ巡回した場合のトリアージや災害時の初期医療の説明及び実地訓練を行う 医薬品、備蓄品の確認（敬称略）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年3月10日（水） 9:30～ @都筑区役所 区役所対策本部訓練 <p>出勤医：高山瑠衣</p>															
<p>防災救護拠点</p> <p>被災直後に仮設救護所として休日急患診療所を使用できるよう、また医療活動拠点として情報収集が可能であるよう体制を整える 医師向けのトリアージ訓練</p> <p>訓練前に各自で北部病院作成のトリアージのビデオ学習 http://www.tsuzuki-med.org/4movie/2016_showa_hokubu_dvd.mp4</p> <p>情報受伝達訓練（偶数月第1木曜日 4月除く）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【中止】4月16日（木） ・【中止】6月4日（木） ・8月6日（木） ・10月1日（木） ・【中止】12月3日（木） ・2月4日（木） <p>防災医療講演会：今年度はなし</p>															
<p>危機管理対策協議会</p> <p>災害医療連絡会議 災害発生時すぐに対応できるよう区役所、中核病院、消防、警察、歯科医師会、薬剤師会と協力し体制づくりをしている</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域医療・保健体制に関する都筑区危機管理対策協議会の開催（親会議） 10月14日（水） 都筑区役所5階特別会議室 2 都筑区災害医療連絡会議の開催（子会議） 今年度開催せず 3 災害医療調整会議の開催（孫会議） 5月27日（水）、9月4日（金）、10月30日（金） <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策会議（敬称略）</p> <p>プロトコル作成会議：都筑区内の小児科、内科、耳鼻科、眼科、産婦人科の各科からの代表によるプロジェクトチームを立ち上げ、各科の視点から有効な対策を講じ、診療科による違いもあるが、基本的な対策の指針を作成する。</p> <p>20:00～ @会議室</p> <table> <tr> <td>第1回</td> <td>8月6日（木）</td> <td>深澤 立</td> <td>百々秀心</td> <td>宮崎直道</td> <td>塚原睦亮</td> <td>佐藤茂樹</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>8月17日（月）</td> <td>深澤 立</td> <td>百々秀心</td> <td>宮崎直道</td> <td>佐藤茂樹</td> <td>上川床総一郎 時枝啓介</td> </tr> </table>		第1回	8月6日（木）	深澤 立	百々秀心	宮崎直道	塚原睦亮	佐藤茂樹	第2回	8月17日（月）	深澤 立	百々秀心	宮崎直道	佐藤茂樹	上川床総一郎 時枝啓介
第1回	8月6日（木）	深澤 立	百々秀心	宮崎直道	塚原睦亮	佐藤茂樹									
第2回	8月17日（月）	深澤 立	百々秀心	宮崎直道	佐藤茂樹	上川床総一郎 時枝啓介									

都筑区新型コロナウイルス感染症対策実務者連絡会：緊急事態において、情報共有を速やかに行い実務的な調整を通じて、地域住民の安全や健康を保持し、医療福祉介護従事者が感染や事故等に巻き込まれずに活動ができるよう対応をする

13:30～ @理事長室	第1回	5月26日(火)	小川憲章	福元 晃	小林雅子	深澤 立	区役所3名	福祉保健センター1名	北部病院1名	医師会在宅部門2名	
	第2回	6月23日(火)	小川憲章	福元 晃	小林雅子	深澤 立	区役所2名	福祉保健センター1名	北部病院1名	医師会在宅部門2名	
	第3回	7月21日(火) 14:30～	福元 晃	小林雅子	深澤 立		区役所1名	福祉保健センター1名	北部病院1名	医師会在宅部門2名	
	第4回	8月18日(火)	大山 学	福元 晃	小林雅子	深澤 立	高山瑠衣	区役所1名	福祉保健センター1名	北部病院1名	医師会在宅部門2名
	第5回	9月29日(火) 14:30～	福元 晃	小林雅子	深澤 立			福祉保健センター1名	北部病院1名	医師会在宅部門2名	
	第6回	10月20日(火)	小川憲章	福元 晃	小林雅子			区役所1名	福祉保健センター1名	北部病院1名	医師会在宅部門2名
	第7回	11月24日(火)	小川憲章	福元 晃	小林雅子	深澤 立	高山瑠衣	区役所2名	福祉保健センター1名	北部病院1名	医師会在宅部門2名
	第8回	12月22日(火)	小川憲章	福元 晃	小林雅子	深澤 立	高山瑠衣	福祉保健センター1名	北部病院1名	医師会在宅部門2名	
	第9回	1月26日(火)	福元 晃	小林雅子	深澤 立	高山瑠衣		福祉保健センター1名	北部病院1名	医師会在宅部門2名	
	第10回	2月16日(火) 14:30～	福元 晃	小林雅子	深澤 立	高山瑠衣		福祉保健センター1名	北部病院1名	医師会在宅部門2名	
	第11回	3月23日(火) 14:30～	小川憲章	福元 晃	小林雅子	深澤 立	高山瑠衣	福祉保健センター1名	北部病院1名	医師会在宅部門2名	

災害医療コーディネーター委員会：今年はなし

災害支援

災害地への寄付

今年度は開催せず

消防署との情報交換会

消防署救急隊連絡会

消防署上層部との連絡会（敬称略）

今年度は開催せず

警察署との情報交換会

警察署上層部との連絡会

医務嘱託医、検視医の派遣協力（敬称略）

今年度は開催せず

歯科医師会・薬剤師会との情報交換【三師会】

医療者である医師、歯科医師、薬剤師の三者がより緊密な協力体制をとり、地域の保健・医療・福祉・介護の向上に寄与するとともに、三師会会員の学術振興、相互の親睦等を深め、

医療界の様々な変化に対応し、連携を確立することを目的とする

会 議 20:00～ @理事長室 6月24日(水) 7月29日(水) 1月4日(月) 2月15日(月) 3月15日(月)

19:30～ 8月26日(水) 10月5日(月)

歯科医師3名、薬剤師2名、村上浩、深澤立、福元晃、小林雅子、村上昇、吉井涼子

講演会：10月13日(火) 19:30～ @Web (Zoom)

内容：『実地診療での新型コロナウイルス感染症』～インフルエンザ流行期における対応のポイント～

座長：深澤 立 講師：加藤 英明（横浜市立大学附属病院 感染制御部/医学部血液・免疫・感染症内科学 講師）

織3 地域医療及び地域保健連携事業

地域の医療・介護に真摯に向き合い、行政、基幹病院、かかりつけ医、在宅事業者など地域医療・介護を担うあらゆる分野の専門家が連携を取り、

協力し合うことでそれぞれの役割を明確にし、医療・介護の質を向上させ、患者・利用者の精神的、身体的負担を減らすことに努める。

在宅医療連絡会

ケアネットつづき医療連携協賛金

在宅医療を実施している医師の勉強会、連携体制の整備、現状の説明会、基幹病院との連絡会、区内在宅事業者との連絡会などを通じて在宅医療を取り巻く様々な課題を解決し在宅医療の利用者によりよい医療を提供する

在宅医療講演会（ケアネットつづき医療連携研修）年4回【今年度は3回中止】

第1回：2月24日（水） 18：30～ @会議室

内容：『地域で暮らす精神障害のある方への訪問看護～実践報告や具体的な関わり方～』

講師：篠崎めぐみ（精神科認定看護師、横浜市総合保健医療センター訪問看護ステーションみんなのつばさ 管理者）

医師会員の意見交換会

認知症サポート医事業

高齢者保健福祉として「認知症サポート医」を登録し協力（現在5名）

認知症の方を抱えている家族の活動を支援する為に広報活動を区役所と協力している医師（認知症サポート医）を支援し、療養中の認知症の方及びその家族へのサポート体制を充実させる

認知症サポート連絡会及び都筑区役所が主催する認知症フォーラムにおいて、講師として参加し、市民に認知症に対する理解を深めてもらうことに努めている

第17回：令和2年4月28日（火）【書】第18回：令和2年7月28日（火）19：30 第19回：令和2年9月29日（火）19：30

第20回：令和2年12月22日（火）19：30 第22回：令和2年3月23日（火）19：30

都筑区認知症連絡会主催講演会 令和3年3月3日（水）19：30～ @会議室+Zoom

『かかりつけ医の認知症診療について～地域で支える認知症～』 講師：真鍋 雄太 神奈川歯科大学附属病院 認知症・高齢者総合内科 教授 横浜市新都市脳神経外科病院 認知症診断センター部長

地域基幹病院との運営協議会、幹事会

地域中核病院との連絡協議会、幹事会等を実施

近隣病院との「連携の会」等を実施

患者をはじめとする地域住民が効率よく医療機関を利用し最善の医療を受けられるように、毎月、地域基幹病院である北部病院との協議を重ね、連携強化及び情報収集を行っている

昭和大学横浜市北部病院 【書面】4月20日（月）19：30 第62回都筑区地域連携協議会幹事会 12月16日（月）19：30 第36回地域医療支援病院運営協議会@北部病院 西棟

【書面】5月19日（火）19：30 第33回都筑区地域連携協議会 【書面】1月18日（月）19：30 第64回都筑区地域連携協議会幹事会

【書面】6月17日（水）19：30 第34回地域医療支援病院運営協議会 2月16日（火）19：30 第35回都筑区地域連携協議会

【中止】6月25日（木）19：30 第18回地域医療連携フォーラム 【Web】2月25日（木）19：30 第17回地域医療連携フォーラム

【書面】9月14日（月）19：30 第63回都筑区地域連携協議会幹事会 3月22日（日）19：30 第37回地域医療支援病院運営委員会

【書面】9月16日（水）19：30 第35回地域医療支援病院運営委員会

【Web】11月27日（金）19：30 第19回地域医療連携フォーラム

補 福祉保健連絡会

福祉保健センター、北部病院、地域ケアプラザと都筑区医師会員及び職員との意見交換並びに懇談会を実施

福祉保健連絡会において都筑区福祉保健センター、区内地域ケアプラザ、基幹病院の地域連携室、訪問看護ステーションの看護師、訪問看護福祉士、

ケアマネジャー、医師が参加し、地域住民の健康維持のニーズに応えるべく、情報交換会、各事業所の事業報告などを行い医療、保健、福祉の連携を深める

都筑区福祉保健医療活動に係る連絡会

今年度は開催せず

地域ケアプラザ運営協議会

地域ケアプラザ運営協議会委員の出動協力

葛ヶ谷地域ケアプラザ、東山田ケアプラザ、加賀原ケアプラザ、新栄地域ケアプラザ、中川地域ケアプラザの運営協議会に参加し、高齢者を中心に

子どもや障害者が幅広い地域生活を営めるよう、医師の視点から施設の有効利用、町内交流活動の促進等の意見交換を行う

構成メンバーは、地区の町内会、老人会、婦人会、ボランティア団体、障害者団体の各代表が参加（敬称略）

施設名	運営協議員	協力医名	代理協力医名	代理協力医名
横浜市葛が谷地域ケアプラザ	小川憲章 (H29.4～)	長田展明 (R2.4～)	神山一行 (R2.4～)	
東山田地域ケアプラザ	小林雅子 (H27.6～)	石井 修 (R2.4～)	小林雅子 (R2.4～)	
横浜市加賀原地域ケアプラザ	村上 浩 (H30.4～)	神山一行 (R2.4～)	長田展明 (R2.4～)	相川真吾 (R2.4～)
横浜市新栄地域ケアプラザ	深澤 立 (H31.4～)	林 毅 (H20.4～)	深澤 立 (R2.4～)	東 浩平 (R2.4～)
横浜市中川地域ケアプラザ	福元 晃 (H29.4～)	深澤 立 (R2.4～)	福元 晃 (R2.4～)	小林雅子 (R2.4～)

介護認定審査会

都筑区審査部会の委員を派遣

他3 その他の医療保健事業

地域住民の福祉と健康を守ることを目的とした地域福祉保健計画推進会議・委員会への出席や地域住民が安心して医療機関を利用し、

その後も継続して治療や療養ができるよう病診連携に係る地域連携協議会への出席など、行政等からの要請で会議に出席し医師の立場から意見を述べ地域医療の向上に協力する。

各医会の分野にわかれ、それぞれの分野で最近の話題、注目される事柄を積極的に研究し、最新知識を発信することで地域医療の向上を図る。

学術講演会や勉強会を開催し、知識の研鑽と共に医療現場の現状や課題について情報共有し、地域医療の向上に役立てる。

伝達講習会

診療報酬改定に伴う医療機関向けの勉強会を2年に1度開催

今年度は開催予定年ではないが、市医師会主催でWebによるサテライト開催をした

令和2年度診療報酬改定 おさらい勉強会 第1回：令和2年6月30日（火）第2回：令和2年7月30日（木）

メイン会場：横浜市健康福祉総合センター4階ホール 19：30～

サテライト会場：理事長室

講師：細谷 邦夫（メディカル・サポート・システムズ）

補 社会保険診療懇話会

県医及び市医より講師を招き保険診療に関する情報の周知と理解を目的に実施

介護保険の勉強会（敬称略）

令和2年10月～ @web (Youtube) 配信のため集合研修はなし

『ウイズコロナにおける保険診療～現在までの対応と今後について～』 講師：神奈川県医師会理事 石井貴士

『保険新報の現況』 講師：横浜市医師会理事 渡辺雄幸

『支払基金の取組みと審査の現況』 講師：神奈川県社会保険診療報酬請求審査委員会委員長 田口進

社保部会主催勉強会

正当な保険診療を行うため講演会を行う

今年度は開催せず

北部六区会長・副会長会

横浜北部地域6区の会長・副会長が定期的に会合をもち、各区の状況と具体的な対応について情報を共有する（年2回）

今年度は開催せず

内科医会（会長：宮崎直道）

診療科別に特化した勉強会を実施。また地域中核病院等と協力し症例検討会等を開催

会員の親交を深め、医学の知識及び情報交換を行う（敬称略）

令和2年11月13日（金）19：00～ 都筑区内科医会学術講演会 @Zoom

「COVID-19時代のカテーテルアブレーション～実施施設のリアル～」 講師：横浜労災病院 循環器内科 副部長 長田 淳

令和3年2月8日（月）19：00～ 内科医会連携勉強会（循環器） @Zoom

座長：おやま内科クリニック 小山憲

「糖尿病と心不全」 講師：昭和大学横浜市北部病院 循環器内科 岡部俊孝

「不整脈医から見たSGLT-2iへの期待」 講師：昭和大学横浜市北部病院 循環器内科 山下賢之介

外科医会（会長：岸利昭）

会員相互の友好・親睦を深め、知識及び情報の共有をはかり、自身の向上となる場を提供する

地域中核病院との病診連携の推進と親睦を深める

今年度は開催せず

整形外科医会（会長：吉崎賢一）

診療科別に特化した勉強会を実施。また地域中核病院等と協力し症例検討会等を開催

学術講演会を年2回開催（敬称略）

今年度は開催せず

小児科医会（会長：百々秀心）

北部病院こどもセンター及び小児循環器センターとの連携をはかり、会員の知識の共有及び意見交換会を行う

会員の親交を深め、医学の知識及び情報交換を行う

今年度は開催せず

耳鼻科医会（会長：佐藤成樹）

北部病院との親睦会と症例検討会の開催（年2回）

会員相互の交友・親睦を深め、知識及び情報の共有をはかり、自身の向上となる場を提供する（1年～2回）

今年度は開催せず

皮膚科医会（会長：石和万美子）

北部病院との親睦会と症例検討会の開催（年2回）

会員相互の交友・親睦を深め、知識及び情報の共有をはかり、自身の向上となる場を提供する（年1～2回）

今年度は開催せず

眼科医会（会長：上川床総一郎）

北部病院との学術講演会と病診連携会の開催

会員の親交を深め、医学の知識及び情報交換を行う

今年度は開催せず

産婦人科医会（会長：塚原睦亮）

北部病院との症例検討会の開催（年2回）

会員相互の交友・親睦を深め、知識及び情報の共有をはかり、自身の向上となる場を提供する

今年度は開催せず

泌尿器科医会（会長：深澤立）

北部病院及び近隣病院の連携を図る

横浜地区、川崎地区の泌尿器科専門医と連携、知識を共有する勉強、意見交換を目的とした場を作る

泌尿器科以外の医師に泌尿器疾患を中心に知識等の普及を図る

令和3年1月27日（水） 19：30～ 第11回都筑区医師会泌尿器科医会学術講演会 @Zoomと会議室

座長：昭和大大学横浜市北部病院 泌尿器科 教授 富士 幸蔵

「夜間多尿による夜間頻尿の薬物治療」 昭和大大学横浜市北部病院 泌尿器科 林 圭一郎

精神科医会（会長：青山洋）

医療連携及び勉強会日開催

今年度は開催せず

プライマリ・ケア医会（会長：小林雅子）

プライマリケア医としての知識その他を高める事を目的とし、多職種からの知識経験得る

症候学勉強会、講演会、懇親会の開催

今年度は開催せず

会員向け学術講演会

毎月1回特定の診療科に依存しない勉強会を実施

肺がん検診勉強会（症例検討会）の実施

医療安全研修会において院内感染対策勉強会を実施

学術講演会（第3水曜日 3月のみ第4水曜日）19:30～ （敬称略）

【中止】令和2年4月～11月

令和2年12月16日 第217回 『“5万人に1人”の希少疾病を見逃さないために ～遺伝性血管性浮腫HAEについて知る～』講師：横浜市立大学医学部 環境免疫病態皮膚科学 准教授 猪又 直子

令和3年1月20日 第218回 『生活習慣病としての脂肪性肝疾患 たかが脂肪肝 されど脂肪肝～臨床上のピットホールも含めて～』聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 消化器・肝臓内科副部長 講師 高橋 秀明

令和3年2月17日 第219回 『コロナ禍における精神科疾患に関して、プライマリーケアで注意すること（仮）』講師：もりの緑メンタルクリニック（横浜市青葉区）院長 加藤 邦夫

【中止】令和3年3月

その他勉強会

市医師会等主催でサテライト開催の勉強会

令和2年11月24日 第1回横浜市医療安全研修会 @【主会場】横浜市医師会会議室 【サテライト開催】理事長室

広報委員会

ホームページによる地域住民への広報活動、ディスクロージャー、区内医療機関の検索、理事会速報の報告

今年度は実施せず

横浜市医師会各事業部会への参加協力

各事業部会への参加協力 （敬称略）

- ・神奈川県救急医療中央情報センター指導医の協力出動は令和2年度の活動をもって返上されるため派遣しなかった
- ・横浜スタジアム シーズンシートチケット3月16日（火）の抽選（ペイブル：柳館富美、ペイツイン：鈴木和信・近兼健一朗）

PCR簡易検体採取所（ドライブスルー）

新型コロナウイルス感染症の流行が非常に拡大しており、都筑区休日急患診療所を中心に発熱者外来やPCR検査センターを、都筑区役所と協力して立ち上げ、早期対応、病院の負担を減らして医療崩壊を防ぎ、区民の健康をしっかりと守る。

PCRセンター立ち上げ委員会

- 令和2年8月18日（火）19：：@理事長室 都筑区医師会PCR検査センターについての話し合い（臨時企画会議）
- 令和2年10月16日（火）12：@区役所 センター長面談
- 令和2年12月4日（金）19：：@理事長室 第1回 都筑区医師会PCRセンター立ち上げ委員会
- 令和2年12月6日（日）8：0@理事長室 第2回 都筑区医師会PCRセンター立ち上げ委員会
- 令和2年12月11日（金）21：0@理事長室 第3回 都筑区医師会PCR検査センター立ち上げ委員会
- 令和2年12月18日（金）21：：@理事長室 第4回PCR検査センター立ち上げ委員会
- 令和2年12月22日（金）13：@理事長室 第5回PCR検査センター立ち上げ委員会
- 令和2年12月23日（水）19：@理事長室 三師会PCR検査センターの説明会
- 令和2年12月25日（金）13：@医師会駐車場 PCRセンター予行演習

PCRセンター実施

左が受験者数・右が陽性者数

1月5日（火）	1月8日（金）	1月12日（火）	1月16日（土）	1月19日（火）	1月22日（金）	1月29日（金）	1月30日（土）
13	4	20	2	20	0	7	1
14	4	9	2	5	1	11	0
2月2日（火）	2月5日（金）	2月9日（火）	2月13日（土）	2月16日（火）	中止】2月19日（金）	2月26日（金）	2月27日（土）
1	0	7	0	7	1	5	1
4	0	0	0	6	0	5	1
3月2日（火）	3月5日（金）	3月9日（火）	3月13日（土）	3月16日（火）	3月19日（金）	3月27日（土）	3月30日（火）
12	0	3	2	8	1	2	0
4	0	6	0	10	1	3	0

他4 会員福利厚生事業

会員相互の親睦を図る目的で、野球部及びゴルフ部のクラブ活動、納涼会・新年会等を実施すると共に、会員の利便性を高める目的で会報誌の発行などの会員福祉事業を行う。

野球部

横浜市医師会野球部と合同練習及び対外試合の実施
 横浜市医師会・富士市医師会・南アルプス市医師会の三市医師会親睦野球大会への参加
 今年度は開催せず

ゴルフ部

会員の親睦を深めるため年2～3回開催（敬称略）
 ゴルフ部（世話人：伊東文行、栗栖純穂）
 今年度は開催せず

納涼会、新年会

医師会員の福利厚生に関すること
 納涼会（在宅事業部門主催）今年度は開催せず
 忘年会（在宅事業部門主催）今年度は開催せず

会報誌発行

会報誌の発行（年2回発行）
 令和2年11月末、25周年誌を発行した

語学勉強会

会員及びスタッフ等の英語レベルを日常会話及び診療に問題のないようにするため英語教師を招き勉強会を実施
 語学勉強会（世話人：百々秀心） 今年度は開催せず

漢方勉強会

漢方治療に興味のある先生によるアットホームでざっくばらんな漢方の勉強会
今年度は開催せず

班会

班編成：6班 地区毎に医療機関を班編成し、情報収集や被災時などの対応を共有する（敬称略）

	第1班	第2班	第3班	第4班	第5班	第6班
班長	上林 正治	勝野 雅弘	稲葉 鋭	吉家 大亮	土屋 優子	門倉 光隆
副班長	村上 昇	竹内 正弥	安藤 直子	石井 修	王 紹英	—
	青山 洋	橋本 佳子	栗屋 敬之	—	—	—
担当副会長	福元 晃	深澤 立	小林 雅子	小川 憲章	村上 浩	—

【書面会議】班長会 令和2年 5月14日（木）

【書面会議】第1班班 令和2年 4月 2日（木）

【書面会議】第2班班 令和2年 6月 9日（火）

【書面会議】第4班班 令和2年12月 7日（月）

つばき秋の会

年1回（秋頃）開催

令和2年 11月 14日（土） @ロイヤルパークホテル 【中止】

会員褒章規程による表彰及び慶弔金

褒章規程による表彰（令和2年度対象者14名）

【会員】

神奈川県医師会 長寿会員80歳表彰	授賞	片山クリニック 片山圭男
神奈川県医師会 長寿会員70歳表彰	授賞	サイ・クリニック 井泉尊治
神奈川県医師会 長寿会員70歳表彰	授賞	佐々木内科医院 佐々木治
神奈川県学校保健功労者表彰	授賞	齊木クリニック 齊木和夫
横浜市医師会 学校医在籍20年表彰	授賞	センター南クリニック 武田茂
横浜市医師会 学校医在籍20年表彰	授賞	弘中内科小児科 弘中太郎
横浜市医師会 学校医在籍20年表彰	授賞	バンビーナ小児科 真砂野仁
横浜市医師会 学校医在籍20年表彰	授賞	ひぐち小児科医院 樋口薫
横浜市医師会 学校医在籍20年表彰	授賞	ほしの小児クリニック 星野千代江
横浜市医師会 学校医在籍20年表彰	授賞	都筑耳鼻咽喉科クリニック 板橋隆嗣
横浜市医師会 学校医在籍20年表彰	授賞	とのうちファミリークリニック 殿内力
横浜市医師会 学校医在籍30年表彰	授賞	水野クリニック 水野恭一
横浜市医師会 学校医永年勤続退職		
神奈川県学校保健功労者表彰	授賞	仲町台耳鼻咽喉科 渡辺英男

【職員】

永年勤続職員在籍10年表彰	授賞	介護福祉士	武本恵美子
永年勤続職員在籍10年表彰	授賞	介護福祉士	金井塚祐子
永年勤続職員在籍10年表彰	授賞	看護師	濱崎三千代
永年勤続職員在籍10年表彰	授賞	介護福祉士	市川雅子
永年勤続職員在籍10年表彰	授賞	介護福祉士	佐野木朋子

褒章規程による弔慰金

つばき病院 中野雄二（令和2年8月9日（日）享年81歳）

在宅医療連携拠点事業（公益目的支出計画対象外の為 他3）

都筑区在宅医療相談室

(1) 相談・支援業務 実績：相談件数 105件 対応回数 937回

ア 退院時支援

イ 地域包括支援センター・ケアマネージャー等からの相談・支援

ウ 情報支援

エ 相談員連携とスキルアップ

担当者連絡会 年4回 ⇒ 6/19(中止) 9/23 12/18 8/19

(2) 医療連携・多職種連携業務

・ 在宅医療連携拠点担当者連絡会 4/27(書面会議) 5/25 6/29 7/27 8/31 9/28 10/26 11/30 12/28 1/25 2/22 3/29(5月以降はハイブリッド開催)

・ 医師の意見交換会 新規立ち上げ 11/9 1/18 (オンライン会議)

ア かかりつけ医のバックアップの仕組みの確保・強化

・ かかりつけ医のバックアップシステム広報6回/年行ったが、手上げは無かった。

・ ドクターtoドクター 201件/年 (拠点委員のみの報告)

イ 在宅患者急変時の緊急一時入院に対応する病院との連携

・ 緊急一時入院対応実績及び確保状況報告 299件/年 (拠点委員のみの報告)

ウ かかりつけ医の在宅医療研修の企画・実施

実績：5月・7月(中止) 10/30 医療用麻薬の使い方(ハイブリッド開催) 2/26在宅診療における泌尿器科領域のあれこれ(ハイブリッド開催)

エ 多職種間での連携会議・事例検討

・ 見える事例検討会開催：10/7 11/26 2/15(中止)

・ 地域多職種連携協議会総会 7/21 3/23 幹事会 4/10(中止) 5/8(書面会議) 6/12 7/10 8/7 9/11 10/9 11/13(休会) 12/11 1/8 2/12 3/12(休会) 6月以降はハイブリッド開催

・ オンライン多職種連携の会 新規立ち上げ 2/11 (オンライン開催)

(3) 市民啓発業務

・ 2/21 在宅介護を上手に継続していくためには (オンライン開催)

管理費 法人を運営するため

法人会計共通

総会

定時総会（決算）、また臨時総会として予算総会を実施

1) 定時総会（令和元年度決算、事業結果報告、令和2年度予算、令和2年度事業計画）

令和2年6月10日（水）19：30 @会議室

2) 臨時総会 今年度は実施せず

理事会

毎月1回（原則第3木曜日の翌日）開催

1) 定例会 20：00～ @理事長室

4月17日（金） 5月22日（金） 6月19日（金） 7月17日（金） 9月18日（金）

10月16日（金） 11月20日（金） 12月18日（金） 1月15日（金） 2月19日（金） 3月19日（金）

企画会議

毎週火曜日昼に開催

1) 定例会 13:30~ @理事長室 ★は移動企画会議のため「上野毛 荏原」 ※予算検討委員会

4月7日(火) 4月14日(火) 4月28日(火)

5月12日(火) 5月19日(火)

6月2日(火) 6月9日(火) 6月16日(火)

7月7日(火) 7月14日(火) 7月28日(火)

8月25日(火)

9月1日(火) 9月8日(火) 9月15日(火) 9月29日(火)

10月6日(火) 10月13日(火) 10月27日(火)

11月10日(火) 11月17日(火)

12月1日(火) 12月8日(火) 12月15日(火)

1月5日(火) 1月12日(火) 1月19日(火)

2月2日(火) 2月9日(火) 2月16日(火)

3月2日(火) 3月9日(火) 3月16日(火) 3月30日(火)

会計監査

年1回開催

令和2年5月13日(水) 19:30 @理事長室

役員報酬

年1回

規定通り12月に支給

交際費

東方町芋煮会…【中止】

消防出初式…協賛金・会長の登壇(実行委員会として)【中止】

センター北まつり…【中止】

都筑区懇話会 長谷川秀男さん90歳お誕生日会…令和2年10月5日(月) @新横浜グレイスホテル

泉区医師会館及びに泉区休日休館診療所内覧会…令和2年10月10日(土) @泉区休日急患診療所

忘年会…【中止】

新年会等…【中止】

PCRセンター説明会時土産

会費…都筑区懇話会、警察友の会、センター北商業振興会、社会保険協会、牛久保西町内会費

賛助会員会費…都筑区社会福祉協議会

各科医会会長の会…平成30年9月11日(火) 20:00~@理事長室

士業事務所との打合せ…会計事務所=月次処理25日前後1回・会計報告会月末月初のいずれか1回、社会保険労務士月1回

収益事業**他1 休日診**

都筑区医師会では、地域住民に安心していただける質の高い医療を提供し、生命と健康を守るため、緊急医療を確保することを目的としている。

一次救急として、翌日にはかかりつけの医療機関を受診してもらうまでの一時的な対処療法や応急処置等を施す施設である。入院治療等の必要がある場合には近隣病院へ紹介できる体制を整えている。

都筑区休日急患診療所事業

都筑区休日急患診療所の運営及び診療業務に関すること

1) 診察日数 71日 2) 出勤医 172人(延べ) 3) 患者数 1,001人(延べ)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内科	18	44	7	36	37	39	12	28	48	102	53	34	458
小児科	12	25	9	32	28	38	20	36	31	31	27	32	321
外科	0	0	0	0	0	3	0	1	0	1	0	0	5
整形外科	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	3
皮膚科	2	3	3	5	4	8	5	6	5	7	3	3	54
泌尿器科	3	7	5	3	3	5	0	6	1	6	2	3	44
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科	5	9	4	17	15	2	4	12	25	4	14	3	114
産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
歯科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2
合計	40	89	28	93	87	95	41	89	112	151	101	75	1,001
診療日数	5	8	4	6	6	6	4	7	6	8	6	5	71
出勤医数	11	17	9	13	13	13	9	15	17	23	18	14	172

COVID-19感染症対策に関すること・・・年末年始よりPCR検査(唾液・抗原)を開始・発熱外来

地域防災活動に関すること・・・今年度なし

横浜市北部夜間急病センター運営会議に関すること(随時開催)(敬称略)

令和2年11月18日(水)19:30~ @横浜市医師会 出席者(都筑区抜粋): 相川真吾、大山 学、(内科医会)小林雅子

都筑区休日急患診療所従事者慰労会に関すること(年1回開催)

今年度は開催せず

他2 在宅事業部門

訪問看護ステーション事業

目標 利用者205名/月 ⇒結果 210.8名/月 訪問件数 14,000件/年 ⇒結果 15,437件 1件単価 11,000円 ⇒結果11,021円

1 サービスの質の向上、職員一人一人の目標達成に向け教育環境を整える

1) 人材育成システムの構築に努め、スタッフの自己成長を目指す

- ① 管理者・主任・リーダーの会議を定期的に行う(週1回短時間、月1回1 ⇒結果 時間を決めてではなく、適宜行った。
- ② 超過勤務の是正 ⇒結果 感染予防目的で分散することで一時、改善されたが、訪問件数が増え利用者の重症化に伴い戻ってしまった
- ③ 医療的コーディネーターがいるステーションとしての役割を認識し、地域との連携 ⇒結果 相談件数が多く、役割は担えていると考える
- ④ 事業所内研修を定期的に行なう(月1回)部署内での事例検討を行う⇒COVID-19の影響で事例検討は出来なかったがオンライン研修に参加することはできた
- ⑤ 記録の見直しを行い、記録時間の短縮を目指す ⇒結果 継続的な課題となっている
- ⑥ 職員の面接を行う ⇒結果 適宜行う状況で、時間を決めて行うことはできなかった

2 事業所体制を強化し、経営の安定を図る

2) リハビリスタッフや看護師の人員体制を強化し、訪問件数を維持・増加する

- ① 適切なスタッフの確保
看護師常勤1名・理学療法士常勤1名等 ⇒非常勤看護師が産休に伴い非常勤看護師2名増員した。また常勤PT1名増員に伴い訪問件数を増やすことが出来た
- ② ナーシングホームとの連携強化し体制を整える⇒訪問看護業務で強化までには至らなかった。

ヘルパーステーション事業

目標 利用者70名/月 日勤訪問時間7,275時間/年 ⇒時間単価 6,032円 ⇒結果 利用者64.8名/月 日勤時間5,912時間/年 夜間・早朝時間1,385時間/年 深夜時間331時間/年
 夜間・早朝時間 1,850時間/年 時間単価 8,523円 深夜時間 372時間/年 時間単価10,779円

1 事業所体制の強化と働きやすい職場作りにより、経営の安定をはかる。

1) 現在の職員の維持と協力体制により、黒字をめざす。

- ① 夜勤1コース、平日遅番4コースの維持による夜間早朝訪問の安定をはかる。 ⇒結果 人員不足のため8月より夜勤に代わり深夜勤新設、遅番は曜日により3コースと2コースで対応
 早番増員と週末・祝日訪問増、身体介護サービスの時間増による、日勤のサービスの強化。 ⇒結果 早番非常勤1名入職した。身体介護の新規とるが終了も早かった。
- ② 日勤・遅番・夜勤の常勤相互の協力と非常勤の勤務相談調整による、新規依頼を受託強化。 ⇒結果 前年度より常勤1名、非常勤3名減少。日勤非常勤2名勤務時間増やした。
- ③ 24時間在宅ケアステーション、ナーシングホーム、訪問看護との相互協力と連携体制の強化。 ⇒結果 NHサポート時間134時間減少。夜勤が深夜勤になり夕方のサポートができなくなった。
- ④ 特定事業所加算、算定要件の維持。 ⇒ 結果維持できた。 訪問看護の利用者の新規は優先的に受託した。
- ⑤ 特定処遇改善加算・処遇改善加算、算定要件の維持。 ⇒ 結果維持できた。
- ⑥ 適宜職員の面接を実施。 ⇒結果 新規採用職員に対しては面接実施したが、他の職員は必要時のみ実施。

2) サービスの質の向上と維持。

- ① 主任・リーダー会議と研修参加による、育成の強化。 ⇒ 結果 毎月会議実施でき、体制の検討、新規の受託等検討。研修はオンラインで参加。
- ② 各勤務帯定期的ミーティングと勉強会の開催により、質の向上をはかる。 ⇒結果 感染防止策によりミーティング回数減少したが、人員少ないためサ責の直接指導でフォロー。

居宅支援センター事業

目標 実績が上がる利用者 1440名/年 (120名/月：重度割合50%) (一か月の支援費 軽度者 11,753円/1人、重度者 15,267円/1人)
 退院連携加算 (5,004円×35回/年)、ターミナル加算 (4,448円×5回/年)、要支援 4,130円/1人×240名/年、認定調査 4,950円×50件/年
 ⇒結果 実績が上がった利用者 1524名/年 △84名 (127名/月：重度割合48%)、要支援 339名/年 △99名、認定調査 20件/年 ▼30件

1) 個々の研修テーマを決め、ケアマネジメント力の向上に努める。

- 2) 他法人や包括支援センターとの事例検討会等に参加する。 ⇒結果 COVID-19の影響下で一度だけ行われた研修会に出席した。

2 就労状況やライフバランスを考慮し、仕事へのモチベーションが保てる職場環境を整える。

⇒結果 達成できた。

3 より良い居宅支援を行うことにより、経営の安定を図る。

1) 特定事業所加算・Iの算定要件を保つ。《特定加算・I》 5,560円/1人×1440名=8,006,400円の収入

- ① 法令を遵守し、減算の無い居宅支援を行う。
- ② 加算の要件である人員 (主任ケアマネ2名、常勤専従職員3名)を維持する。 ⇒結果 主任ケアマネ1名が退職し、R3年2月から加算・IIに変更した。
- ③ 利用者の重度割合40%以上を維持する。 ⇒結果 維持できた。
- ④ 基礎研修で義務化された在宅実習生の受け入れ体制を整える。 ⇒結果 今年度の実習はCOVID-19の影響下で中止された。

2) 次年度も特定事業所加算・IVの算定が取れるよう、積極的に医療連携に取り組む。《特定加算・IV》 1,390円/1人×1440名=2,001,600円の収入

- ① 退院時の病院訪問による情報共有 年35回以上 ⇒結果 退院連携38回、ターミナルケア5回
- ② 自宅死亡を支援するターミナルケア 年5回以上 ⇒結果 加算IVの算定条件を満たし、次年度の算定を可能にした。

4 地域連携等に貢献し、事業所としての位置を確立する。

- ・ 「ケアネットつづき」の事務機能と連絡業務の中心的役割を果たす。 ⇒結果 COVID-19の影響下で書面総会とZoom研修1回のみ行った。

福祉用具センター事業

目標 ・介護保険利用者840名/年 18,939円/名 ・自費レンタル利用者120名/年 8,555円/名 ⇒結果 介護保険 649名/年 20,360円 自費 109名/年 6,083円

1) 福祉用具レンタル・販売業務を継続する

⇒結果 継続

2) 都筑区医師会ナーシングホームおよび訪問看護所有の福祉用具の管理を行う

⇒結果 定期点検はできず年末に1回のみ実施。他要望に応じて対応した。

3) 職員に対する福祉用具使用法等についての研修会を実施する

⇒結果 1回/年 新商品 (ベッド・マットレス) 研修会を実施した。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業、夜間対応型訪問介護事業（24時間在宅ケアステーション）

目標 定期巡回利用者24名/年 夜間対応利用者216名/年 ⇒結果 定期巡回利用者24名/年 夜間対応利用者156名/年 人員不足と体制変更により夜間対応型の新規は

1 サービスの提供と質の向上

- 1) 介護・医療連携推進会議の定期的開催 ⇒結果 制度上年2回開催となったが、感染防止策により5/8書面、9/11中止、3/12書面開催
- 2) 訪問看護と計画作成責任者との連携 ⇒結果 連携により計画作成実施できた

2 収入増加による経営の安定

- 1) 現在の職員の維持と協力体制により、黒字をめざす。 ⇒結果 常勤1名入職後2か月で退職。早番非常勤1名入職。前年度より常勤1名、非常勤3名減少。
訪問介護と同じ
特定事業所加算・算定要件の維持 ⇒結果 維持できた
特定処遇改善加算・処遇改善加算・算定要件の維持 ⇒結果 維持できた
- 2) 利用者確保
ケアマネジャーへ定期巡回と夜間対応型の利用の仕方の周知 ⇒結果 感染防止策により例年の周知活動は中止

看護小規模多機能型居宅介護事業（ナーシングホーム）

目標 登録数 204件/年 登録者単価444,000円/件 ⇒結果 登録者178件/年 登録者単価 490,525円

1 適切な職員の確保と利用者の確保し、黒字転換を目指す ⇒結果 結果：登録者月17件の目標は、後半では達成したが月平均は15件だった

- 1) 地域の関係機関や住民への広報活動 ⇒結果 前半は人材不足、後半は新任育成のためしなかった
- 2) 介護職員の確保（事業所間の協力体制の構築と新規雇用） ⇒結果 介護職5名と看護職

2 安心して安全な質の高いケアの提供を行う

- 1) 職員研修プログラムの活用・実施 ⇒結果 新任雇用ができたため、既存の職員研修プログラムの活用ができた
- 2) 各種マニュアル整備とケアの均一化 ⇒結果 看多機計画を介護と看護で共有した
- 3) 職員の制度の理解を深め、運営方針の共有化 ⇒結果 研修会1回/年開催した

3 地域住民との連携

- 1) 運営推進会議の開催 年6回予定 ⇒結果 結果：6回開催 5/8(書面会議) 7/10 9/11 11/13 1/8 3/12(書面会議)
- 2) 研修会、イベントの企画と実施 ⇒結果 コロナ禍により開催できなかった

諸会費

神奈川県看護連絡協議会
ケアネットつづき
つづきケアマネ部会
ケアネットつづき訪問介護部会
横浜市在宅看護協議会
都筑区訪問看護連絡会
横浜市地域ネット24
横浜市小規模多機能連絡会
横浜市都筑区社会福祉協議会

1) 人材確保

- 訪問介護と同じ ⇒結果 訪問介護と同じ
- 特定事業所加算・算定要件の維持 ⇒結果 維持できている
- 処遇改善加算・算定要件の維持 ⇒結果 維持できている

2) 利用者確保

ケアマネジャーへ定期巡回と夜間対応型の利用の仕方の周知 ⇒結果 新任ケアマネ研修に参加や電話相談での説明により、相談の多数が他事業所のケアマネジャーからの相談。
(定期巡回83%、夜間対応型90%)